



# Cisco TelePresence Video Communication Server

はじめに

---

D14350.07

2012 年 8 月

# 目次

---

目次.....	2
<b>一般情報</b> .....	<b>3</b>
Cisco TelePresence Video Communication Server ( Cisco VCS) について.....	3
<b>設置 : Cisco VCS</b> .....	<b>4</b>
パッケージの内容.....	4
はじめる前に.....	4
設置場所の準備.....	4
ユニットの準備.....	4
ケーブルの接続.....	5
電源投入 : Cisco VCS.....	5
<b>初期設定</b> .....	<b>6</b>
シリアル ケーブルを使用した設定.....	6
前面パネルを使用した設定.....	8
<b>使用 : Cisco VCS</b> .....	<b>9</b>
admin アカウントのパスワードの変更.....	9
root アカウントのパスワードの変更.....	9
その他の推奨設定.....	9
Web インターフェイスの使用方法.....	10
コマンドライン インターフェイス ( CLI ) の使用方法.....	10
<b>マニュアルおよびトレーニング</b> .....	<b>11</b>
免責事項.....	12

# 一般情報

## Cisco TelePresence Video Communication Server( Cisco VCS)について

Cisco VCS は、IETF および ITU 標準を使用する SIP デバイスと H.323 デバイス間のビデオエクスペリエンスを向上し、シームレスな通信を実現します。Cisco VCS は、ビデオ通信ネットワークの中心となり、すべての H.323 および SIP エンドポイント、インフラストラクチャ、および管理デバイスを接続します。Cisco VCS は、ビデオ通信に卓越したスケーラビリティと冗長性を提供し、ユニファイド コミュニケーションと Voice over IP システムの相互運用性に不可欠です。

Cisco VCS は、コントロール アプリケーション、Expressway™ アプリケーション、または Cisco VCS Starter Pack Express アプリケーションのいずれかで展開でき、FindMe™ インターフェイスおよびデュアル ネットワーク インターフェイスなどのさまざまなオプション パッケージを利用できます。

## 設置：Cisco VCS

### パッケージの内容

輸送中にユニットへの損傷を防ぐために、Cisco VCS は特別な梱包ボックスで提供されます。これには、次のコンポーネントが含まれます。

- Cisco VCSユニット
- ラック イアー、ネジ、トルク ドライバ
- ゴム製の脚
- ケーブル：
  - 電源コード
  - イーサネット ケーブル
  - シールド付きシリアル ケーブル

不具合がある場合は、シスコ代理店にただちに報告してください。

Cisco VCS の返品が必要な場合に備えて、梱包ボックスを保存しておくことを推奨します。

### はじめる前に

重要：Cisco VCS の設置を行う前に、[www.cisco.com/go/telepresence/safety](http://www.cisco.com/go/telepresence/safety) に掲載されている安全に関する情報をお読みください。

### 設置場所の準備

Cisco VCS をインストールする前に、次のことを行います。

- Cisco VCS にアクセスできることと、すべてのケーブルが簡単に接続できることを確認します。
- 電源コンセントが Cisco VCS の近くにあり、容易にアクセスできることを確認します。
- 十分に換気できるようにするために、ユニット背面パネルの後部に少なくとも 10 cm (4 インチ) のスペースと、前面パネルの前に 10 cm (4 インチ) のスペースを確保します。
  - Cisco VCS には、側面の空気取り入れ口と、背面の排気口があります。特に側面で十分な換気ができていることを確認するためにチェックが必要です。
  - 他のデバイスが Cisco VCS の空気取り入れ口に直接排気していないことを確認します。Codian MCU のエアフローは右から左に流れているため、これらを Cisco VCS の右側に配置する場合は特に注意してください。



図 1：Cisco VCS の通気

- Cisco VCS を設置する部屋は、0 ~ 35 ° C (32 ~ 95 ° F) の周囲温度で、10 ~ 90 % の相対湿度（結露なし）である必要があります。
- Cisco VCS 用のアース済み AC 電源コンセントを使用します。

### ユニットの準備

1. ユニットを開梱します。
2. ラック イアー（トルク T10 ドライバを使用）またはゴム製の脚を取り付けます。
3. ユニットの脚を下になるように戻すか、ラックに取り付けます。



この製品をラックに取り付ける場合は、ラック側の支持角（ラックの角ブラケット）や、ユニットの重みと奥行きに応じたラック シェルフなどの補強アクセサリを追加して使用することが推奨されます。ラック内のユニットが互いに触れないようにしてください。ラックに最適なアクセサリについては、ラックのサプライヤにお問い合わせください。

## ケーブルの接続

1. Cisco VCS の背面に電源コードを接続します( 図 2 を参照)。
2. Cisco VCS の前面の LAN1 ポートからネットワークにイーサネット LAN ケーブルを接続します( 図 3 を参照)。

## 電源投入 : Cisco VCS

1. ユニット背面右側(電源コードの横)の電源スイッチをオンにします。システムに電源が投入されます。3 秒経過してもユニットが起動しない場合は、ソフト電源ボタンを押します。次の状態になるまで待ちます。
  - ユニット前面の緑色の PWR LED が、緑色に点灯する(電源投入中は一時的に点滅する場合があります)
  - ユニット前面の赤い ALM LED が消灯する
  - ユニット全面の表示パネルに IP アドレスが表示される



赤い ALM LED が急速に点滅している場合は、ハードウェア障害を示します。最寄りのシスコ代理店にご連絡ください。黄色の HDD LED はディスク アクティビティを示し、通常動作中にちらつく場合があります、ビジー システムではより頻繁にちらつくことがあります。

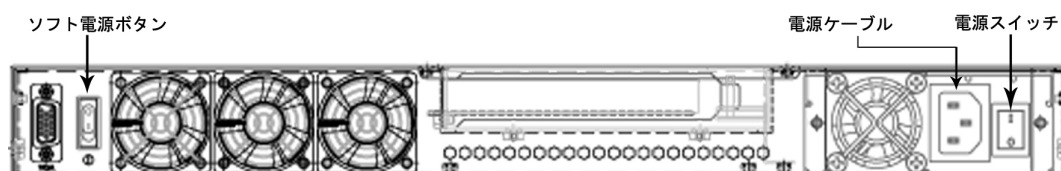


図 2 : Cisco VCS 背面

## 初期設定

Cisco VCS を使用する前に、IPv4 アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。どのアドレスを使用するかについては、ネットワーク管理者に相談してください。Cisco VCS には、スタティック IP アドレスを使用する必要があることに注意してください。

この初期設定は次のように行います。

- シリアル ケーブルを使用して、PC から Cisco VCS に接続します。これは推奨されるプロセスで、次のセクションで説明します。
- 前面パネルのボタンを使用します(“前面パネルを使用した設定” ページ 8を参照)。
- ネットワークの設定で許可されている場合は、デフォルト IP アドレス 192.168.0.100 に Web ブラウザを使用して接続します(1 ページの“Web インターフェイスの使用法” ページ 10を参照)。

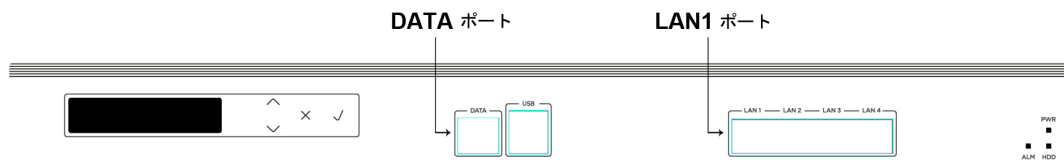


図 3 : Cisco VCS 前面図

### シリアル ケーブルを使用した設定

Cisco VCS シリアル ケーブルで DATA ポートに接続されている PC を使用して初期設定するには、次のように行います。

1. ユニット前面の LAN1 ポートからネットワークにイーサネット LAN ケーブルを接続します。
2. ユニット前面の DATA ポートから PC のシリアル ポートに、付属のシリアル ケーブルを接続します。
3. PC のターミナル エミュレータ プログラムを起動し、PC のシリアル ポートを使用するように次のように設定します。
  - ボー レート : 115200 ビット/秒
  - データ ビット : 8
  - パリティ : なし
  - ストップ ビット : 1
  - フロー制御 (ハードウェアおよびソフトウェア) : なし



使用後は、ターミナル エミュレータ セッションを開いたままにしないでください。セッションを開いていると、システムの再起動時に問題が発生する可能性があります。

4. ユニット背面右側(電源コードの横)の電源スイッチをオンにします。システムに電源が投入されます。ユニットが 3 秒後に起動しない場合は、ユニット背面左側のソフト電源ボタンを押します。
5. 次の状態になるまで待ちます。
  - ユニット前面の緑色の PWR LED が、緑色に点灯する(電源投入中は一時的に点滅する場合があります)
  - ユニット前面の赤い ALM LED が消灯する
  - ユニット前面の表示パネルに、デフォルト IP アドレス(192.168.0.100)が表示される

PC のターミナル エミュレータ プログラムに、Cisco VCS のスタートアップ情報が表示されます。約 4 分後にログイン プロンプトが表示されます(シリアル ケーブルを接続した時に Cisco VCS がすでにオンになっていた場合は、**Enter** キーを押してログイン プロンプトを表示します)。

cisco login:

6. ユーザ名 **admin** と入力し、**Enter** キーを押します。パスワード プロンプトが表示されます。

Password:

7. **TANDBERG** のデフォルト パスワードを入力し、**Enter** キーを押します。  
インストール ウィザードのプロンプトが表示されます。

Run install wizard [n]:

8. **y** と入力して **Enter** キーを押します。
9. インストール ウィザードによって表示されるプロンプトに従い、次を指定します。
  - admin アカウントに使用するパスワード



セキュリティ上の理由から、パスワードをデフォルトの **TANDBERG** から変更することを推奨します。

- IPv4、IPv6 またはその両方を使用するかどうか
- LAN 1 IP アドレス: Cisco VCS
- LAN 1 IPv4 サブネット マスク: Cisco VCS (IPv4 を選択した場合)
- IP デフォルト ゲートウェイ: Cisco VCS
- イーサネット速度



接続しているスイッチが自動ネゴシエートできない場合を除いて、デフォルト値の **Auto** を使用します。

- その管理に SSH を使用するかどうか: Cisco VCS

ウィザードが終了した後に、次のメッセージが表示されます。

```
Setting other settings...
OK.The system must be restarted for new
settings to take effect..
```

再起動のプロンプトが表示されます。

Restart Now?

10. **y** と入力して **Enter** キーを押します。
11. シリアル ケーブルを取り外し、安全な場所に保管してください。

リブートが完了すると、Cisco VCS を使用できます。セキュリティ上の理由から、admin アカウントと root アカウントのデフォルト パスワードを、デフォルトの TANDBERG から変更することを推奨します(まだの場合)。詳細については、“admin アカウントのパスワードの変更” ページ 9 と、“root アカウントのパスワードの変更” ページ 9 を参照してください。



インストール ウィザードで指定した IP 設定は LAN 1 イーサネット ポートだけに適用されます。(デュアル ネットワーク インターフェイスのオプション キーをインストールして) LAN 2 ポートをイネーブルにした場合は、Web インターフェイスまたは CLI を使用して LAN 2 の設定を行う必要があります。

## 前面パネルを使用した設定

Cisco VCS の前面にある LCD パネルおよびボタンを使用すると、IP の設定と確認を行えるだけでなく、システムをリブートできます( 図 3 を参照)。前面パネルを使用して初期設定を実行することは推奨されませんが、PC およびシリアル ケーブルにアクセスできない場合は、この方法を使用する必要があります。

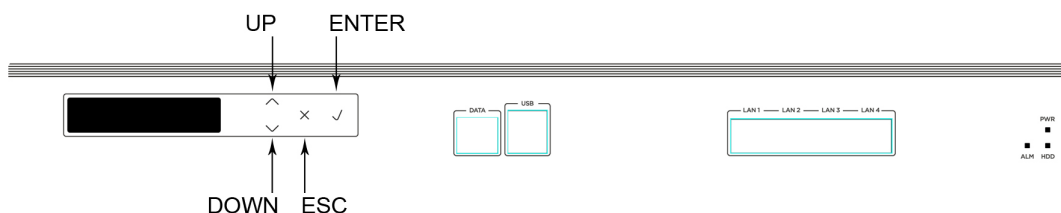


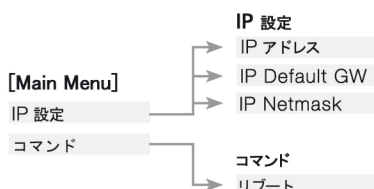
図 3 : Cisco VCS の LCD パネル

デフォルトでは、通常動作中の前面パネルには、Cisco VCS のシステム名、IP アドレス、警告、現在のトラバースル コール数、非トラバースル コール数、および登録数などのステータス項目が順番に表示されます。

ステータス項目の表示を制御するには、次のように行います。

- **ENTER** を押すと、ステータス項目の自動切り替え表示を停止します。これは警告メッセージすべてを確認する場合または長い IPv6 アドレスを確認する場合に役立ちます。切り替え表示を再開するには、**ENTER** を再度押します。
- **UP/DOWN** を押すと、前または次のステータス項目が表示されます。

前面パネルのメニュー オプションにアクセスするには、**ESC** を押します。メニュー オプションは次のとおりです。



- **UP/DOWN** を押すと、次のメニューまたはサブメニュー項目に移動します。
- **ENTER** を押すと、メニューまたはサブメニュー項目を選択します。
- メニューから IP 設定を選択した場合は、次のようになります。
  - **UP/DOWN** を押すと、現在選択されている桁の値が増加または減少します。
  - **ENTER** を押すと、カーソルが次の桁に移動し、最終の桁から移動すると変更が保存されます。
  - **ESC** を押すとすべての変更が取り消され、メニューに戻ります。
- **Commands** サブメニューの場合は、次のようになります。
  - **ENTER** を押すとコマンドが実行されます。
  - **ESC** を押すとメイン メニューに戻ります。
- メニュー オプションを終了して切り替え画面に戻るには、**ESC** を押します。

前面パネルを使用して設定された IPv4 アドレスおよび IPv4 サブネット マスクは、LAN 1 ポートだけに適用されることに注意してください。システムの IPv6 および LAN 2 (デュアル ネットワーク インターフェイスのオプション キーがインストール済みの場合) の設定を行うには、Web インターフェイスまたは CLI を使用する必要があります。



## 使用 : Cisco VCS

Cisco VCS の初期設定後、システムは使用可能になります。Cisco VCS のアクセスと管理にシリアル接続の使用を継続できるほか、次のいずれかまたは両方を使用して IP 経由でシステムにリモート接続できます。

- HTTPS(“Web インターフェイスの使用法”(次のページ)を参照)
- SSH または Telnet 経由のコマンドライン インターフェイス(“コマンドライン インターフェイス(CLI)の使用法”(次のページ)を参照)



セキュリティ上の理由から、Cisco VCS の初期設定が完了したらすぐに、admin アカウントと root アカウントのパスワードをデフォルトの TANDBERG から変更する必要があります。

### admin アカウントのパスワードの変更

admin アカウントのパスワードを Web インターフェイスを使用して変更するには、次のように行います。

1. [メンテナンス(Maintenance)] > [ログイン アカウント(Login accounts)] > [管理者アカウント(Administrator accounts)] に移動します。  
[管理者アカウント(Administrator accounts)] ページに移動します。
2. 管理者の名前の [表示/編集(View/Edit)] をクリックします。
3. [パスワード>Password] および [パスワードの確認(Confirm password)] フィールドに新しいパスワードを入力し、[保存(Save)] をクリックします。

CLI を使用して admin アカウントのパスワードを変更するには、次のように行います。

1. **xConfiguration SystemUnit Password** と入力します。



admin ユーザや他の管理者アカウント、または root アカウントのパスワードは空白には設定できません。

### root アカウントのパスワードの変更

root アカウントのパスワードを変更するには、次のように行います。

1. CLI を使用して、**root** としてログインします。
2. **passwd** と入力します。  
新しいパスワードの入力を求められます。
3. 新しいパスワードを入力し、プロンプトが表示されたらパスワードを再入力します。
4. **exit** と入力して root アカウントからログアウトします。

### その他の推奨設定

次を設定を行うことが推奨されます。

- Cisco VCS のシステム名。これは、システムを識別するために Cisco TelePresence Management Suite(Cisco TMS) で使用されます。これは、Web インターフェイスの [システム管理(System administration)] ページから設定できます([システム(System)] > [システム(System)] に移動)。
- 自動ディスカバリ。同じネットワーク上に複数の Cisco VCS がある場合、そのうちのいくつかで自動ディスカバリをディセーブルにしたい場合があります。これは、Web インターフェイスの [H. 323] ページから設定できます([VCS 設定(VCS configuration)] > [プロトコル(Protocols)] > [H. 323] に移動)。
- DNS サーバ アドレス (URI ダイアルまたは完全修飾ドメイン名(FQDN) を使用する場合)。これは、Web インターフェイスの [DNS] ページから設定できます([システム(System)] > [DNS] に移動)。

これらの設定の詳細および Cisco VCS で使用可能な他のオプションについては、『Cisco VCS Administrator Guide』、展開ガイドおよびリリース ノート( [www.cisco.com](http://www.cisco.com) からダウンロード可能)、またはオンライン ヘルプを参照してください。

## Web インターフェイスの使用方法

Web インターフェイスを使用するには、次のように行います。

1. ブラウザ ウィンドウを開き、アドレス行に次のいずれかを入力します。
  - IP アドレス : Cisco VCS
  - FQDN : Cisco VCS[ログイン( Login) ]ページが表示されます。
2. [管理者ログイン( Administrator Login) ]を選択します。
3. 有効な管理者ユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン( Login) ]を選択します。  
[概要( Overview) ]ページが表示されます。

Cisco VCS Web インターフェイスの各ページで設定できるオプションの詳細については、オンライン ヘルプまたは『Cisco VCS Administrator Guide』を参照してください。

## コマンドライン インターフェイス(CLI)の使用方法

コマンドライン インターフェイスは、デフォルトで、SSH とシリアル ポートを介して利用できません。Telnet を使用したアクセスもイネーブルにすることができます。

コマンドライン インターフェイスを使用するには、次のように行います。

1. SSH または Telnet セッションを開始します。
2. Cisco VCS の IP アドレスまたは FQDN を入力します。
3. **admin** のユーザ名とシステム パスワードでログインします。  
ウェルカム メッセージが表示されます。

Cisco VCS で使用できる CLI コマンドの完全なリストについては、『Cisco VCS Administrator Guide』を参照してください。

## マニュアルおよびトレーニング

Cisco VCS のすべてのマニュアル(『Cisco VCS Administrator Guide』、『FindMe™ User Guide』、Cisco VCS 展開ガイド、リリース ノート、他の製品のサポート マニュアルなど)は、[www.cisco.com](http://www.cisco.com) の Web サイトの [サポート (Support)] 領域から PDF 形式で利用できます。必要に応じて、これらのマニュアルをローカルにダウンロードし、印刷できます。システムには直感的に操作できるオンページ ヘルプがあり、便利な機能およびヒントを幅広く提供します。

すべての製品トレーニングを、オンラインまたはトレーニング ロケーションでご利用いただけます。シスコが提供するすべてのトレーニングと、トレーニング オフィスがある場所の詳細については、[www.telepresenceeu.com](http://www.telepresenceeu.com) を参照してください。

## 免責事項

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.